



**「技術戦略専門委員会報告書2006」
概要**

2007年8月3日

内閣官房情報セキュリティセンター (NISC)

<http://www.nisc.go.jp/>

情報セキュリティ上の課題 (技術戦略専門委員会における論点)

高度情報通信ネットワークを安心して利用可能な環境となるための以下の3条件を満足すること

条件 そもそも「高度情報通信ネットワーク(IT)が安全である」こと。

条件 利用者が、「高度情報通信ネットワーク(IT)が安全である」と分かる(認識・体感できる)こと。

条件 万が一事故が起こった場合でも、その被害の局限化や救済等が図られるとともに業務の継続性が保たれること。

情報セキュリティ技術の役割とその促進

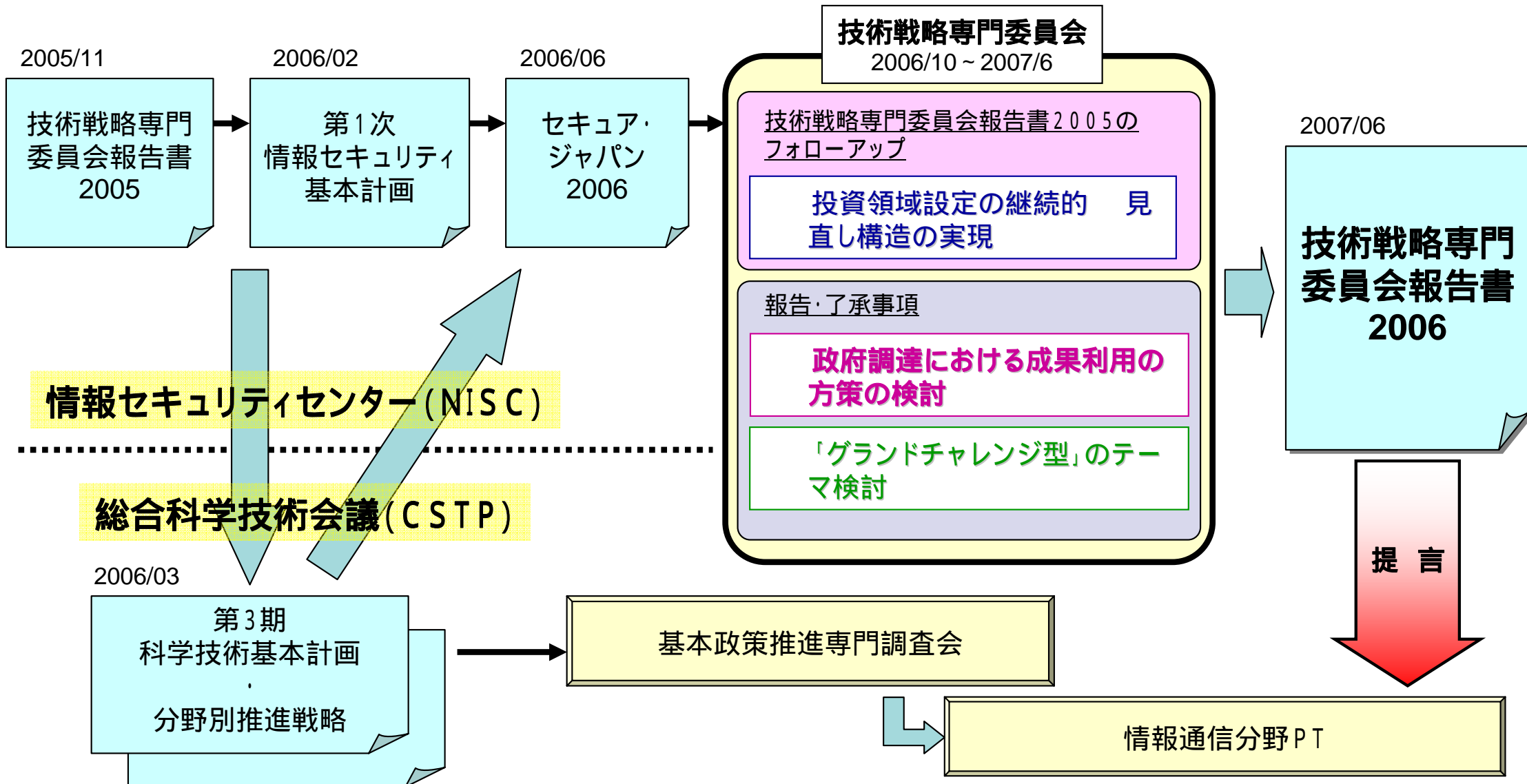
3条件を満足する環境を実現するためには、**情報セキュリティ技術の高度化**を図るとともに、開発された情報セキュリティ技術が実環境で効果的、効率的に運用されるため**組織・人間系の管理手法の高度化**の両面からの取組みが必要。

同時に**情報セキュリティ技術を支える環境整備**がなされることが不可欠。

今後の方向性

- 「情報セキュリティ技術を支える環境整備」について、**高信頼な社会システムの形成実現**に向けた具体的な方向性とプロセスを考えることが不可欠
- 技術が社会展開するプロセスについても研究が必要

2005年に「技術戦略専門委員会報告書2005」を策定した委員自らがフォローアップ作業を行うことを目標として議論を展開



基本的な考え方

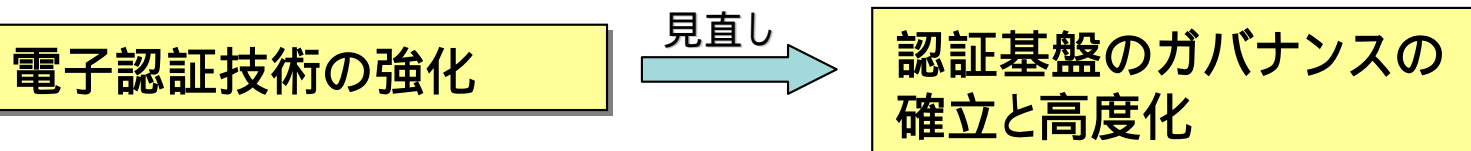
- 限られた投資の中で効率的・効果的な研究開発・技術開発を実現するためには、情報セキュリティに関連する**研究開発・技術開発の実施状況の把握**及び**投資領域設定の継続的な見直し**が不可欠
- 狭義の情報セキュリティ分野に限定せず、情報通信全般を対象として把握、見直しを実施し、情報セキュリティ確保に留意することが重要

研究開発・技術開発の実施状況把握

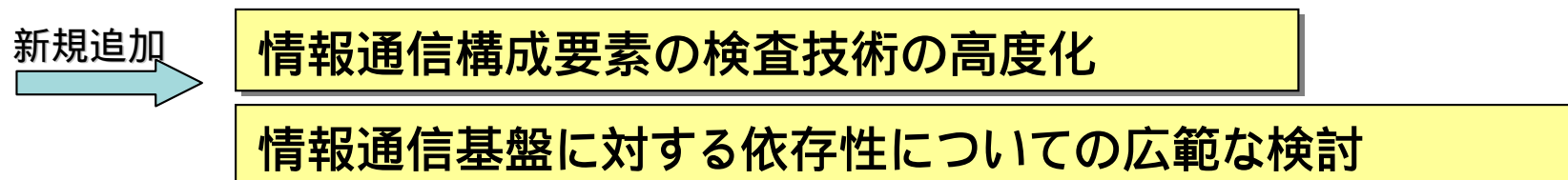
- 情報セキュリティに関連する研究開発・技術開発を抽出し、分野ごとに整理
- 民間における実施状況の把握が課題

報告書2005にて選定した重点化分野の見直し

- 「認証技術」は単に技術開発だけでなく、社会展開までを含めた研究が必要



- 問題の顕在化により新規追加



基本的な考え方

- 情報セキュリティを適正なレベルで確保する構造、いわゆる情報セキュリティガバナンスとそのデザインが重要
- 必要となる技術の開発、調達及び利用する組織、人間系の管理手法などの様々な要件を分析し、総合的な視点から検討の積み重ねが不可欠であり、情報セキュリティのガバナンス自体が情報セキュリティ技術における研究分野
- 研究開発・技術開発における成果を、調達を通して最大限、直接政府が活用し、組織・人間系の管理手法についても併せて提言するガイドラインを策定する

ガイドライン策定の具体的手法

2006年度から産学官の共同研究開発プロジェクトとして開始した「高セキュリティ機能を実現する次世代OS環境の開発」を通して、開発、調達及びその利用という**政府における一貫した成果利用までを見据えた研究開発・技術開発を実施**し、その過程において発生する**様々なノウハウをガイドラインとしてまとめる**。

ガイドライン策定に関する試案

- 技術利用の現場からのニーズの掘り起こしと、研究開発現場へのフィードバック、研究領域の調整という循環モデルを構築することが必要。
- 成果利用の可能性を評価する枠組みも必要。その際、成果の国際展開を視野に入れた評価、特に標準化、リファレンスモデル化などの取組みによる国際性を持った成果利用を積極的に推進することが不可欠。

基本的な考え方

- 段階的に技術を伸ばしていく領域と、新たに領域を立ち上げるチャレンジの要素が大きい領域とをバランスよく保つ考え方が必要
- 目標を明確化し、研究の段階ごとに十分な評価を行いながら長期の研究を推進
- 大きな研究開発に至る前に、小規模で多様な萌芽的研究を広範囲に実施できる環境が必要

グランドチャレンジWGでの検討事項

- 大目標の下で統合的に推進(**ビジョナリィ・ゴール型**)
長期的な研究を実施する意義、サブ課題間の関連性等の明確化
- 技術要素を精査して取組む(**テクニカル・コンポーネント型**)
情報セキュリティの技術要素の選定

研究開発・技術開発を推進する体制

大目標の下での多岐にわたる各種要素技術の統合管理と最適な資源配分を促進するための枠組み構築が最重要事項

「グランドチャレンジ型」プロジェクトの実行行程

2007年度中にグランドチャレンジWGを開催し、実施方法の詳細な検討を行い、その検討結果をふまえた具体的なテーマを選定する